

科 目 名		学年	
図学・製図Ⅰ : Basic Drawing for Engineering I		1C	
教 員 名 田窪修司 : TAKUBO Shuji			
単 位	授業時間	科目区分	授業形態
1	90分×15回	履修	講義/実習・前期
学修単位			
-			
授 業 概 要			
図学・製図の基礎を学ぶ。製図方法、投影法を理解し、製図用具(ドラフター、コンパスetc.)を使い製作図面を書く。			
到 達 目 標		評 価 方 法	
(1)製図法(線種、記号)を理解する。 (2)第三角法による投影法を理解する。 (3)図示方法、寸法記入法を理解し製作図面が書ける。		①提出図面 70% ②テスト 30%	
学 習 ・ 教 育 目 標		(C) JABEE基準1(1)	
回	項 目	内 容	
第1	はじめに製図概要	講義概要(内容、評価方法) 製図とは、規格、製図道具の使い方、線の種類。 実習:線と円弧、長さとの等分、内接六角形。	
第2	製図用具の使用法	実習:ドラフターの使い方	
第3	各種図示法	投影法、等角図、キャビネット図、展開図 投影図:三角法	
第4	投影法	三角法の理解	
第5	投影法	実習:三角法の図面	
第6	投影法	実習:三角法の図面	
第7	中間まとめ	中間試験	
第8	図面の書き方	図形の表し方、図の配置、断面図、特別な図示法、図形の省略、寸法線、寸法記入法、寸法記号	
第9	図面の書き方	実習:図面の作成	
第10	図面の書き方	実習:図面の作成	
第11	図面の書き方	実習:図面の作成	
第12	寸法記入法	実習:図面の作成	
第13	寸法記入法	実習:図面の作成	
第14	寸法記入法	実習:図面の作成	
第15	まとめ	全体の学習事項のまとめを行う。また授業評価アンケートを行う。	
自 学 自 習 の 内 容		製図実習においては教科書、諸元表等の資料を参照しながら完成させていく実戦型の習慣を身に付ける。	
関 連 科 目		図学・製図Ⅱ	
教 科 書		製図(原田昭他4名・文部科学省検定済教科書・実教出版)	
参 考 書		JISにもとづく標準製図法(大西 清・理工学社)	
授 業 評 価 ・ 理 解 度		最終回に授業評価アンケートを行う。	
副 担 当 教 員		根来宗孝	
備 考			